

シニアが集う場で聞きました。

好きな歌、

思い出の曲、

音楽のある風景。

若者だけでなく、高齢者にも大人気なものといえば、カラオケ！歌うことって、元気にいきいき生きる秘訣！？ そう思った私たちは、“高齢者ふれあいサロン”と“ようせい喫茶”に集うシニアの方々に、「好きな歌」や「思い出の曲」を突撃インタビュー。そこには、人生を彩る「音楽」の力がありました。



灰田勝彦、三橋三智也、春日八郎、田畑義夫が好きでね。浪曲が好きで、広沢虎造をラジオで聞いて歌ってましたよ。美空ひばりもよく見たね。歌はとてもうまいけど女としては… (笑)。昔タクシーの運転手をしていた時、美空ひばりとよく共演していた嵐寛寿郎を乗せたことがあります。目的地の嵐山についたとき、寛寿郎さんが奥さんに「はよ降りなさい」と言われてました。尻に敷かれていたのを見て、驚いたね(笑)。(山田京彦さん)

好きな歌は、やっぱりハトポップ (笑) !! まあこれは冗談やけど、毎日笑って生きられるのは良い事です。私はやっぱり歌いやすい歌が好きですね。笠置シズ子『東京ブギウギ』はラジオでよく聞きました。何もない時代だったからね。一番好きなのは北島三郎。友達が歌っているのを聞いて好きになったのが最初です。サブちゃんは背低いけど、ユーモアがある。人を退屈させないし、歌も胸に響いてくる。『川』っていう曲が歌いやすいしとても好きですね。(広瀬明美さん)

自分の結婚式の時に義理のお兄さんが村田英雄の『夫婦春秋』歌ってくれました。結婚式場にカラオケのなかった時代だったので、アカペラで歌ってくれました。普段は人前で歌なんか歌わない人なのに、マイクを力強く握って、肘をはって、カチカチに緊張しながら歌ってくれました。身内の人だから、高砂席からは一番遠いところだったけれど、私からはよく見えて、ほんとに涙が出て感動しました。(山田由紀美さん)

息子が大学時代にバンドをやってたね。昔から塾とかも長続きしない三日坊主の子だったけど、ある日突然ギターを習いたいと言ってきて。めったに自分からものを頼まへん子やったから、好きなことなら続くかもと思いつけてあげたんです。そのうち息子が「こんな作ったんだけど」とオリジナル曲のテープを聞かせてくれてね。息子がこんなしっかりした曲を作れるようになったのかと思うと、なんだか泣けてきて。息子は周りの友人に、「この曲で親が泣いた」と話したら、それは「身内だからちゃう？」と言われたそうです(笑)。(平川和子さん)

天童よしみの『釜山港へ帰れ』はよく歌ったね。若い頃は、四条にある「チャップリンⅡ」っていう、友達がやってるスナックへよく通ったんです。一晩でウイスキーのボトル半分は空けてね。韓国には行ったことないけど、この歌は歌いやすいし好きだった。若い頃はもっと遊ぶべきやと思います。むしゃくしゃしてても、歌えば心が晴れる！家にカラオケの機械もあるけど、近所迷惑だし今は家では歌いません(笑)。お酒もきっぱり辞めました。男として大事なことは、自然らしさかな。奥さんとは駆け落ち同然の結婚だったけどね。『ふたりの大阪』も昔よく歌いました。(笹村昭一さん)

高齢者ふれあいサロン

当センターが運営する高齢者のための施設。カラオケ以外に、将棋・囲碁、テレビ鑑賞などもお楽しみいただけます。

開館日：
月曜～土曜
(※火曜日は休み)

開館時間：
10時～16時半



ようせい喫茶

京都市立白河総合支援学校(地域コミュニケーション)が学習の一環として運営している施設。図書館も併設されています。

開館日：
火曜～金曜 (※祝日は休み)

開館時間：
(喫茶) 10時～12時
(図書館) 10時～15時
※木曜は12時まで



今回お話をうかがった、2つの集いの場。カラオケをしたり、おしゃべりしたり。交流の場として、情報交換の場として気軽に足を運んでみてください。

REPORT 『思い出語りの会』が はじまりました!

地域の65歳以上の方を対象に、昔使っていた古い道具や古い写真等を手がかりにして、懐かしい思い出話に花を咲かせ、みんなで楽しく健康になろうという企画が始まりました。初回は自己紹介の後、参加者の皆さんの名前の由来を聞き、出身地を日本地図に書き込んだり、ふるさと自慢などをみんなでしました。子供の頃の遊びについて尋ねると、いろいろな昔遊びの話が出て、中でも“ゴムとび”や“どんま”はみなさん自ら立ち上がって実演披露! また、“靴隠し”の話になると、鬼を決めるとき歌をみなさん覚えておられ、みんなでその歌をうたって盛り上がりました! この会は12月20日まで毎週金曜日13時15分～14時15分に、高齢者ふれあいサロンにて開催されています。お気軽にお越しください。



2013年 イベント内容

◎『思い出語りの会』展示会

日時: 2月10日(日)～27日(水) <予定>
11月～12月で開催した『思い出語りの会』での模様を展示します。

◎『ようせい紙芝居フェスタ』

日時: 2月10日(日) 11時～17時 <予定>
オリジナル紙芝居上演、出し物、お餅つきも計画中です。お楽しみに!

参加募集! *詳細やお申込みは当センターにお電話で。

◎「シニア向け演劇体験講座」

気軽に演劇でおこなう稽古を体験してみませんか。体も心もリフレッシュ!

対象: 50歳以上の方(経験不問)
日時: 1月30日～2月27日 毎週水曜日 16時～18時
定員: 7名/料金: 4000円(全5回)/持ち物: 動きやすい服装と靴

◎「親と子のためのヨガ教室」

当センターで大人気のヨガ教室に、親子ヨガが登場!

対象: 未就学児3才～5才とお母さん、お父さん
日時: 2月13日(水) 15時45分～16時45分
定員: 親子連れ5組(4組以上で実施・先着順)
料金: 親子ふたりで参加: 1200円、お子様お1人追加ごとに+300円
持ち物: 動きやすい服装、飲料、タオル

い
き
い
き
こ
ら
む

センター長・杉山準の

このセンターに来て、1年半が過ぎました。地域のセンターとして、施設利用者さんとだけでなく、地域との関わりも大切にしてきました。そんな中で、このまちの様子が少しずつ変化してゆくのを感じています。地域の問題をなんとかしようとする住民の皆さんが努力している様子が、よく伝わってくるのです。そんな姿を見ていると「まちづくり」とは、単にイベントを行うことではなく、人(の心)を変えてゆくことなのだ、腑に落ちます。公共の場を掃除する人の輪が広がっていったり、ペットの排泄をきちんとさせるよう促す活動をしている人に出会ったり、自主的からだの不自由な方や独居の高齢者の見回りをしていたり、住民互助の仕組みを作ろうと自治会を立ち上げたり、手間を惜しまず人の為に行動する、その「さすがに行かない」の連鎖こそが、「まちづくり」そのものであると感じるのです。



「いきいきセンター」って
どんなん? Vol. 2

「左京西部いきいき市民活動センター」の魅力伝える第2回目は、自慢の貸し部屋(有料:1時間100円)を当センタースタッフ沢大洋がご紹介。

会議室1



一番広く、最大50名まで使用可能。机、椅子が常設のため、会議や講演会などの利用にお勧めです。

会議室2

唯一、カーペット敷きの部屋となります。ストレッチやヨガなど、寝っころがる運動もできます。



会議室3



日当たり、風通し良好。昼はさわやかに、夜は間接照明で暖色系の光が灯されます。

和室

12.5畳の広々和室。ちょっとした運動、勉強会なんかにも使っていただけますよ。



<沢大洋からの一言コメント>
どのお部屋も机、椅子の出し入れOKです!